

# 事前評価調書

I 事業概要																																																																
事業名	道路事業（道路改良事業）																																																															
地区名	一般県道坂上田振線 <small style="font-size: small;">さかがみたびり</small>																																																															
事業箇所	豊田市 <small style="font-size: small;">とよた</small> 栃本町 <small style="font-size: small;">とちもと</small> ～国谷町 <small style="font-size: small;">くにや</small>																																																															
事業のあらまし	<p>一般県道坂上田振線は、豊田市坂上町から田振町（足助地区）に至る延長 6.9km の路線であり、一般県道坂上花沢線や主要地方岡崎足助線と接続し、三河山間地域の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、線形不良により見通しが悪く、隘路区間も続き、車両のすれ違いが困難であることから、山間地域における拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。また、足助中学校の通学路に指定されているが、歩道がなく生徒等の歩行者・自転車を含めた安全性の面でも課題となっている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、当地域の交通の円滑化及び歩行者等の安全確保を図るため、一般県道坂上田振線の現道拡幅事業を実施するものである。</p>																																																															
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																															
事業費	事業費	内訳																																																														
	4.8 億円	■工事費 4.1 億円、■用補費 0.3 億円、■その他 0.4 億円																																																														
事業期間	採択予定年度	平成 30 年度	着工予定年度	平成 30 年度	完成予定年度	平成 39 年度																																																										
事業内容	現道拡幅（延長：L=0.84km、車線数：2 車線(2/2)、幅員：W=9.25m）																																																															
II 評価																																																																
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、日常生活の移動の妨げとなっているため、円滑な交通の確保が必要である。</li> </ul> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足助中学校の通学路に指定されていることから、通学の生徒を含めた歩行者等の安全確保の観点からも歩道整備が必要である。</li> </ul>																																																														
	判定	<b>A</b>	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の円滑化及び安全性の確保のため事業実施の必要性がある。</li> </ul>																																																													
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> <th>H37</th> <th>H38</th> <th>H39</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="9">←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">2.1</td> <td colspan="5">2.7</td> </tr> </tbody> </table>							H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	工種区分	調査・設計	←→										用地補償	←→										工事		←→									事業費（億円）		2.1					2.7				
			H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39																																																				
工種区分	調査・設計	←→																																																														
	用地補償	←→																																																														
	工事		←→																																																													
事業費（億円）		2.1					2.7																																																									
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体より早期整備の要望を受けている。</li> <li>・地元住民に対し事業説明会を開催し、合意形成を図っている。</li> </ul>																																																															

判定	<b>A</b>	A : 事業計画の実効性が期待できる。 B : 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。
<b>Ⅲ 対応方針</b>		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。: 上記①~②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。: 上記以外のもの。	
<b>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況		